

製品名: CD40 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86873**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:31 kDa; Observed MW:42 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD40
別名	p50; Bp50; CDW40; TNFRSF5
遺伝子ID	958
SwissProt ID	P25942
免疫原	ヒトCD40の組み換えタンパク質

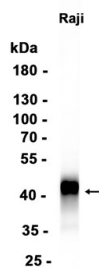
背景

この遺伝子はTNF受容体スーパーファミリーに属する。コードされているタンパク質は免疫系の抗原提示細胞上の受容体であり、T

細胞依存性免疫グロブリンクラススイッチ、メモリー B 細胞の分化、胚中心形成など、多様な免疫応答および炎症応答の媒介に必須である。AT フック転写因子 AKNA は、この受容体とそのリガンドの発現を協調的に制御することが報告されており、これは同型細胞間相互作用に重要である可能性がある。アダプタータンパク質 TNFR2 はこの受容体と相互作用し、シグナル伝達のメディエーターとして機能する。この受容体とそのリガンドの相互作用は、アミロイド β 誘導性ミクログリア活性化に必要であることが判明しており、アルツハイマー病の発症初期段階であると考えられている。この遺伝子に影響を与える変異は、常染色体劣性高 IgM 免疫不全症 3 型 (HIGM3) の原因である。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。 [RefSeq 提供、2014 年 11 月]

研究分野

画像データ



CD40 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Raji 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。